

主教就任式

主教会議長またはその指名を受けた司式主教は座につき、就任する主教は二名の司祭を従えて聖所の入口に立つ。司式主教は指定した者に、就任主教の主教按手の証を朗読させる。終わって司式主教は会衆に言う。

兄弟よ、いま我ら神の御前にありて、我らの敬愛する主教——師をこの教区に迎え、その就任式をなさんとす。ゆえに我ら心をあわせ、うやうやしく神の恵みを祈るべし

一同ひざまずく。

司式者

主よ、あわれみたまえ

会衆

キリストよ、あわれみたまえ

司式者

主よ、あわれみたまえ

次に一同、主の祈りを唱える。

天にします我らの父よ、願わくは御名を聖となさしめたまえ。御国をきたらしめたまえ。御心を天におけるごとく、地にも行なわしめたまえ。我らの日用の糧を今日も与えたまえ。我らに罪を犯すものを我ら赦すごとく、我らの罪をも赦したまえ。我らを試みにあわせず、悪より救いくださいたまえ アーメン

司式者

主よ、主のしもべ——を救いたまえ

会衆

彼は主にたよれり

司式者

願わくは聖所より助けを彼におくりたまえ

会衆

天より力を彼に与えたまえ

司式者

主よ、彼のために堅固なる城となりたまえ

会衆

彼の敵を防ぎたまえ

司式者

主よ、我らの祈りをききたまえ

会衆

我らの声を主の御前に至らせたまえ

司式者

我ら祈るべし

司式主教は次の祈りをする。

全能の父・主なる神よ、主はこのしもべを召し、この教区の牧者・主教となさしたまえ。願わくは聖霊の恵みによりて、正しくその務めを尽くし、公会の聖奠を行ない、ゆだねられたる群れを治め導くことを得させたまえ。また教えと行ないをもつて、御名の栄光をあらわし、ついに限りなき命に至ることをえさせたまえ。救い主イエス・キリストによりてこいねがい奉る。アーメン

ここで会衆は立つ。就任主教は管理主教に導かれて司式主教の前に立つ。司式主教は就任主教の指に指輪をはめる。次に司式主教は就任主教に牧杖を渡して言う。

なんじこれを受け、なんじに与えられし權威をもつて、ゆだねられたる群れを導くしとせよ

就任主教は牧杖を右手にもち、司式主教の導きに従って主教座につき、牧杖を侍司祭に渡す。次に常置委員長は就任主教に左のように言う。

尊き師父よ、——教区常置委員長たる我——、当教区の聖職と信徒を代表し、ここに師父を迎え、父と子と聖霊の御名によりて、師父を我らの主教と仰ぎ、その權威に服従することを約す。願わくは主なる神、今よりいつまでも、なんじのいずると入るとを守りたまわんことを

就任主教はその座から次のように言う。

愛する兄弟よ、われ神の摂理と恵みによりて、キリストの公会の主教に選ばれ、御旨により、いま日本聖公会——教区の主教職に就任す。われ御力にたより、至誠と全力を尽くしてこと当たらんことを期す。されど我ひとりにてこの重任を全うすることあたわず。なんじらよろしく主にありて心を同じゅうし、相和らぎ、力をあわせ、神の栄光をあらわし、公会の徳を建て、福音の宣揚につとむべし。わら今これがために祈らん

就任主教は祭壇の前に立つて言う。

主教 主なんじらとともにいますことを
会衆 主なんじの霊とともにいますことを
主教 我ら祈るべし

一同ひざまずき、就任主教は自己のために祈る。

わが主・わが神よ、主はくすしき摂理と大いなる恵みをもって、しもべを召し、使徒たちよりの唯一の聖公会の主教に選び、この教区につかわしたまいしことを感謝し奉る。我いま身と魂を主にささげ、力の限り種に仕えまつるべし。願わくは絶えずしもべを守り、常にまことの信仰に堅く立ち、清き良心を保ち、すべての良き徳に富むことを得させたまえ。願わくは我をあわれみ、力と愛と慎みとをもって、臆せず御心に従い、この尊き務めを行ない、主の群れお牧することを得させたまえ。我らの主イエスキリストによりてこいねがい奉る。アーメン

次に就任主教は立つて教区のために祈る。

天地万物を統べ治めたもう全能の神よ、あわれみをもってこの教区に祝福をくだしたまえ。願わくは聖職と他の伝道者に熱心と知識をさずけ、すべての信徒に必要な恵みを増し加えたまえ。幼き者を祝してこれを守り、信仰あつき者を強めたその数を増し、病める者を慰めてこれをいやし、悪に陥るものを呼びかえして善に向かわしめ、眠れる者をさまし、倒れたる者を起こし、悔ゆる者をゆるし、この教区のすべての実信者を主の救いに入らしめたまえ。また願わくは我らこころを一つにして聖公会の発展をはかり、声を合わせて、聖徒に伝えられし信仰の道を言い表わすことを得させ、異端・分裂・党派を生ずることなく、すべての者、聖霊のたもう平和と喜び、謙そんと愛をもって主に仕え、相交わり、主の栄光をあらわし、聖公会の徳を建つことを得させたまえ。我らの救い主・唯一のとりなし・主イエス・キリストによりてこいねがい奉る。アーメン

主任主教は次の祈りをもって会衆を祝福する。

願わくはとこしえの契約の血によりて、羊の大牧者となれる我らの主イエスを、死人のうちよりよみがえらせたまいし平和の神、その喜びたもうところをイエス・キリストによりてなんじらのうちに行ない、み心を行なわしめんために、すべての良きことにつきてなんじらを全うしたまわんことを。願わくは世々限りなく栄光、主にあらんことをアーメン